

平成26年春季集落座談会



3月7日から13日までの5日間、JAは春季集落座談会を45会場で開催しました。今回は平成26年度経営計画や新しい農政等について説明を行い、組合員から多くのご意見やご要望を頂きました。その回答を掲載致します。

協議事項

平成26年度経営計画の

めやす(案)について

Q 加工用米を配分より多く出荷したいと思いますが、JAでは対応してくれますか。

A 転作目標面積を大豆、野菜等で自己達成する方は、加工用配分数量を戻しても良いこととしております。全体の加工用米の数量は32,000俵と決まっておりますので、その内数での調整になりますのでご理解願います。

Q あきたこまちは県北で近年食味評価でAになっておりますが、JAでは特Aになるために、どのような指導を行っていくのでしょうか。

うか？また、食味値の高い米を作付した施肥体系を教えてください。

A 近年、高温障害による玄米品質低下が要因によるものが多くみられており、特Aを目指すには基本技術の徹底による土づくり・水管理が必要になります。栽培講習会では、食味値向上に向けた栽培体系を紹介しておりますので、是非ご参加下さい。

Q 肩代りの金額は今年2,000円下がったようですが、それでも高すぎるのではないのでしょうか。

A 肩代わりについては、貸す方、借りる方との需要バランスがあります。肩代わり検討委員会が協議された結果でありますので、ご了承願いたいと思います。